

## 季節はずれの雪の中を歩く

# ブナセンター自然観察会「雪どけのブナ林観察会」開催

只見町ブナセンターの主催で、自然観察会「雪どけのブナ林観察会」が3月23日に余名沢の観察の森で開催され、13人が参加しました。雪どけ時期を想定した観察会でしたが、当日は降雪となり、参加者はスノーシューやかんじきをはいて森の中を歩きました。

観察会は、ブナセンター館長や指導員の解説で、かつての薪炭林であった若いブナの二次林や成熟したブナ林を観察し、その違いを学ぶとともに、発芽の環境が整うまで何十年も土の中で休眠するホオノキの発芽のメカニズム、雪上昆虫の生態などに理解を深めました。



▲参加者は、「雪の中でブナ林を歩く体験はなかなか機会がなく、貴重な体験で楽しかった」と話しました。

## 走って、地域の魅力を再確認

# 「只見線リレーマラソン」開催



▲参加者だけでなく、沿線住民らも「マイレール意識」を高めるきっかけとなりました

JR只見駅と会津若松駅までの28駅27区間をタスキで繋ぐ「只見線リレーマラソン」が3月30日に開かれ、有志ら38人が只見線沿線を走りました。

只見町、金山町の有志が地域の魅力を再発見し、「マイレール意識」を高め、只見線を応援しようと企画したもので、只見ランナーズと金山ランニングクラブのメンバーが中心となり、タスキを繋ぎました。

午前6時スタートと朝早くの開始でしたが、スタート地点の只見駅には、約50人が応援に駆けつけました。

参加した中学生らは、スタート前に「緊張はあまりしていません。楽しんで走って、只見線の応援に繋がりたいです」と話しました。

## 子育て世代を応援

# 「あそびの教室」開催

身体や指先を使った遊び、親子の触れ合い遊びなどを提供する「あそびの教室」が、4月19日に保健福祉センターの保健室で行われました。

教室では、曲に合わせた触れ合い遊びの他、子どもが視覚でも触覚でも楽しめる風船づくりをしました。教室を訪れた子どもは、出来上がった風船でとても楽しんでいました。

「あそびの教室」は、未就学児とその親を対象に、年10回の開催を予定しており、予約不要でご参加いただけます。日時については、おしらせばんでお知らせいたします。



▲子育てについての相談も受け付けています。お気軽にご参加ください

## 地域環境を守る 「春のちょボラごみ拾い」実施

朝日地区地域づくり委員会の主催で「令和6年度春のちょボラごみ拾い」が4月20日に開催され、朝日地区の住民ら70人が参加しました。また、今回の開催にあたって、「うつくしまの道・サポート制度」により県からごみ袋の支給を受けました。

今年は、燃えるごみと燃えないごみ、危険ごみを合わせて、23袋分のごみを拾いました。

ごみ拾い中には、参加者同士で談笑する姿も見られ、地域を綺麗にするとともに、住民らの交流も深められました。



▲商工会女性部や朝日小学校の先生らにもご参加いただきました

## 子どもが本に触れるきっかけをつくる 只見中 図書イベント開催



▲じっくりと表紙をみる生徒たち

只見中学校は「子ども読書の日」の4月23日に子どもたちの読書活動の意欲を高めるために、「只見中学生が選ぶキレイな表紙の本 人気ナンバー1投票」を行いました。このイベントは、まず学習委員会の生徒が綺麗な表紙の本を選び、生徒がその本の中からキレイだと思った一冊に投票するというものです。

学習委員会の委員長を務める齋藤寧々さんは「表紙から興味を持ってもらうことで、読書活動に繋がって欲しいです。イベントを通して、図書室の利用者を増やし、どの本にも違った魅力があることを感じて欲しいです」と話しました。

「子ども読書の日」は、国が「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき定められました。また、令和6年3月には子どもの主体的な読書活動を支えるために「第三次只見町子ども読書推進計画」が策定されました。

## 100歳おめでとうございます

### 梁取ヤヨエさん 知事賀寿表彰

梁取ヤヨエさん（坂田）が4月25日に満100歳を迎えられ、同日に百歳高齢者知事賀寿の贈呈式が行われました。

式では、町や町議会、社会福祉協議会、町老人クラブなどから祝品が贈られた他、家族から花束が手渡されました。

表彰式終了後に梁取さんは「100歳まで生きられたのも皆さんのおかげです」と感謝の言葉を述べられました。

また、梁取さんの長寿の秘訣は好き嫌いせず何でも食べることだそうです。



▲これからも元気に長生きしてください